

【 平成 26 年度 大宅中学校教育構想 】

校長 西村 弘滋

私たちは教育者としてなにを原点としていくか。その原点は自分自身である。保護者もそうであるように、教職員の言動や一挙手一投足を生徒は見ているし、そのものが教育である。つまり、教職員は生徒のモデルであり、保護者、地域の方々はそういう見方をしている。

生徒を人間としてしっかり捉え、付き合い、関わっていくことを教育者の本分とし、『尊重と尊敬と信頼』を持って生徒に接していくと考える。

また学校状況を見る中で教職員は教育を実践する上で自己責任の上に、教職員のチームワーク (TW) とパーソナルワーク (PW) の大切さがある。さらに大宅中の厳しい教育条件のもと教職員間の情報の共有化が必要と考える。

私たちはどこの所属でもなく大宅中の所属であり「大宅の子どもは、大宅の教職員が支え、教育する。」気持ちを忘れないで取組を進めたい。

【学校教育目標】

**「人、物、時を大切にし、志ある豊かな心の育成、
自己実現に向けた基礎学力の定着を図る」**

【目標設定の理由】

- 大宅教育の基盤を「生徒ありき、その前に人ありき」と捉え、生活の基本である自己・他者を大切にする心、物を大切にする心、規則正しい生活を大切にする心を育みたい。
- 将来の自分自身の生き方について、自己実現の手段として、キャリア教育の推進、体験的教育活動の推進から学習へのモチベーションを高め、基礎的・基本的な学力のみならず、課題解決的な学習や探究活動を身につけさせるとともに、常に人のためにという心を持ち続けさせたい。

【重点指導目標】

- 1 <学年・学級づくり>学校生活の基盤は、学年であり学級である。学年主任の学年経営を受け、担任の学級集団づくりを通して、生徒の居場所づくりの実現を図る。
- 2 <授業づくり>個々の指導力を高め、生徒の意欲・関心を喚起する授業づくりと生徒一人一人の状況を把握したユニバーサルデザインの理念を盛り込んだわかる授業の実践の推進により基礎的・基本的な学力の定着を図る。また、あらゆる場面を通じて、つけたい力を明確にした言語活動を展開する。
- 3 <キャリア教育>総合的な学習の時間を中心に、教科・領域を横断的に組み入れた3年間の系統的な取組を実践する。生徒一人一人の将来の生き方について、視野を広げ、進路展望の拡大と確かな進路選択・決定へと結びつける。
- 4 <小中一貫教育>小中一貫教育校として、一小学校一中学校の特色を生かした小中連携教育、小中一貫教育を推進することで学習力と生活力の向上をはかる
- 5 <育成教育と通級指導>総合育成支援教育について理解を深め、さまざまな条件を抱えた個を理解し適切な教育実践を進める。また18年度より本格実施してきたLD等特別支援教育から、19年度は通級指導教員の配置、通級教室の環境ならびに条件整備も推

進し,現在に至っている。これからはさらに校内委員会（総合育成支援教育委員会）を中心に支援の必要な生徒への個別の指導と生徒・保護者等周辺の啓発を進める。

- 6 <生徒指導>生徒理解, 保護者理解, 地域理解をより進め, 学校・家庭・地域の連携のもと, 生徒一人一人の背景まで見据えた生徒指導を実践する。
- 7 <生徒会活動>生徒が自主的に学校生活の充実を目指し, 意図的, 繼続的な生徒会活動を進めることで生徒の自治能力と自浄能力を高める。とくに, 生徒の「規範意識」を高めるため, 生徒会活動を中心化した取組を進める。
- 8 <心の教育>年間を通して人, 物, 時を大切にする心を耕す教育を実践するために, 道徳教育, 人権教育のねらいを明確にして年間の指導計画を立て, また, 集団的な行事（文化祭, 合唱コンクールなど）の目標を明確にするなどして, 自律心と責任感の育成を目指した協働活動が展開できるように進める。
- 9 <図書館教育>これまでの読書活動を踏まえ, 朝読書を全校でさらに推進, 充実させ, 想像力や思考力を培う教育活動を実践する。また, 教育活動の中心的役割を担うために図書館の整備を行う。さらに, 小学校や図書館への読み聞かせ活動をより活性化させ, 地域の施設等との連携や地域へのさらなる浸透を図る。
- 10 <自学自習>主体的に学習する態度を身につけさせるために, 家庭啓発をすすめるとともに, 日常的に家庭学習の課題を提示し, 点検する。
- 11 <進路指導>生徒一人一人の状況・条件を把握した進路指導の実践とキャリア教育の充実により生徒の学習および自己実現への意欲を高める。
- 12 <学校評価>教職員, 保護者・地域, 生徒による評価を実施し, 学校生活をよりよいものとしていくことに役立たせる。
- 13 <部活動>部活動の活性化を図ることにより, 生徒の自己実現への意欲を高める。

【めざす生徒像】～愛と感動のある学校生活を目指して～ めざす教職員像ともリンクする。

- 1 自分を大切にするとともに, 志を持って, 周りの人も大切にする。
- 2 誰に対しても挨拶ができる, 正しい言葉づかいをする。
- 3 規則正しい生活(遅刻しない, 時間を守る)を送る。
- 4 自分の物のみならず, 人の物, 公共の物を大切にする。
- 5 将来展望をもって主体的に授業にのぞみ, 学習する。